

科の説明

放射線治療科は当院における放射線治療部門全体を担当している。放射線治療は、手術、化学療法とともにがん治療の3本柱のひとつであり、がん集学的治療の中で重要な役割を果たす。近年では放射線治療の高精度化が進み、治療成績は向上し副作用の軽減が得られるようになり、今後の超高齢化社会の中で放射線治療の適用患者数は更に増加すると予想される。当施設は日本医学放射線学会・専門医修練機関に認定され、専用の治療計画CT、バリアン社製治療装置2台が設置されており、強度変調放射線治療・定位放射線治療等の高精度治療を行っている。当院の特徴は頭頸部癌が多いことであり、頭頸部癌に対する浅側頭動脈からの動注療法を行っており、本手技の研修も可能である。

一般目標

個々の患者に対する最も適切ながん集学的治療を、がん治療に携わる医師および専門職スタッフと検討し、さらに放射線腫瘍学的な視点から精度高く良好な放射線治療を検討すること。また、放射線治療の対象はほぼ全身の悪性腫瘍であり、放射線治療に関すること以外に腫瘍学全般の知識習得を目指す。

行動目標

- 1) 放射線治療の適応を考え、放射線治療の効果および合併症が理解できる。
- 2) 他科の医師と治療方針について検討できる。
- 3) 急性期の合併症に対して理解し、専門職スタッフと対処療法を検討し、患者にセルフケアの指導ができる。
- 4) 放射線治療計画を通じて、専門職スタッフと放射線に対する知識を深める。

経験目標

- 1) 適切な病歴聴取ができ、系統的な身体所見がとれる。
- 2) 各種画像検査を読影し、腫瘍の進展範囲を判断できる。
- 3) 放射線治療計画を行うことで、正常画像解剖を理解できる。
- 4) 頭頸部癌に対する動注療法の特徴と放射線治療との併用による効果と合併症を理解できる。
- 5) 他科との合同カンファレンスに出席し、がん集学的治療を理解できる。

指導体制

指導医・研修協力医の指導のもとでがん患者の診療に携わる。

週間スケジュール

	午前	午後
月曜日	放射線治療（初診・再診） 治療計画 もしくは動注化学療法	放射線治療（初診・再診） 治療計画
火曜日	放射線治療（初診・再診） 治療計画	放射線治療（初診・再診） 治療計画 もしくは動注化学療法
水曜日	放射線治療（初診・再診） 治療計画	治療計画
木曜日	放射線治療（初診・再診） 治療計画	放射線治療（初診・再診） 治療計画
金曜日	放射線治療（初診・再診） 治療計画	放射線治療（初診・再診） 治療計画 もしくは動注化学療法

定例研修会等

会名	世話人	開催数	会場
がんチーム医療研究会	中瀬一則	年2回	津
三重がん放射線治療研究会	野本由人	年1回	津

具体的な研修方法・留意事項

がん治療に携わる志しをもつ医師は、集学的治療を考える良い機会となるため1週間の研修から対応する。但し、複数の研修医を同時に受け入れることが出来ないためスケジュールの調整を研修センターと相談のうえ行うこと。